

# 夢はW杯でホイッスル

## 関川さん(光星)サッカー2級審判員に

県内高校女子初

**夢中に**  
**マイウェイ**

目指すはワールドカップ(W杯)だ。八戸学院光星高3年の関川伽音(かのん)さん(18)が11月に宮城県で行われたサッカー2級審判員の美技と筆記試験に合格した。青森県内の高校生女子での2級合格は初めてで、今後は

東北大会などで試合の笛を吹く予定だ。既にさらに上の資格取得に向け、競技への理解を深めており、「将来的にはW杯を担当する国際審判員になりたい」と夢を描いている。(上村公悟)

## 夢中にマイウェイ 昨秋部活引退し猛勉強

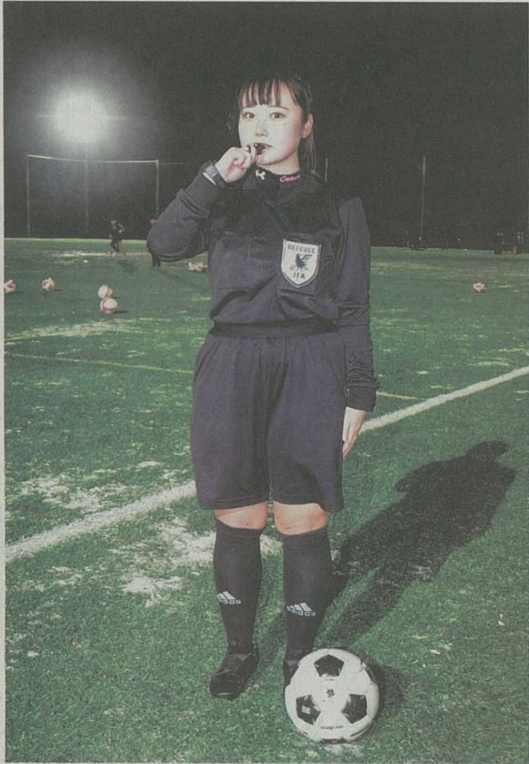
関川さんは中学3年の冬に、で男女の県大会などの試合を3級審判員に合格し、今季も担当してきた。高校では女子サッカー部に所属し、ボランチとして活躍。ただ、次第に

審判としての活動が増えてきたことで、高校2年の秋に現役を退き、審判の道一本を選んだ。「将来のことも考えて決めた。練習に参加できず、チームに対し、申し訳ない気持ちもあった」

引退後は審判資格取得に向けて猛勉強。高校入学の頃から目指してきた2級について合格した。2級は男女東北大会の主審や国民体育大会の副審などを務めることができる。「審判と選手は共に試合をつくる仲間。声かけと笑顔を大事にして、選手たちにリラックスして試合に臨んでもらいたい」と胸を張る。

来年1月の東北高校新人女子選手権で主審を担当し、2級審判のスタートを切る。高校卒業後は県内の大学に進学し、女子サッカー部に所属する予定で、女子1級を目指す。

この冬のカタールW杯で大会史上初めての女性審判員として活躍した山下良美さんに刺激を受けた様子で、さらにサッカーへの情熱が高まっている。早いうちに次のステップに行けるように頑張る。たかくさんの試合に参加し、成長していきたいと力を込める。



青森県内の高校生女子として、初めてサッカーの2級審判員に合格した八戸学院光星高の関川伽音さん